



瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

中国圏広域地方計画に対する意見交換会報告

当協議会では、平成 19 年度総会において、「国土形成計画における瀬戸内の位置付けに関する提言」を決議し、去る平成 20 年 1 月 23 日の国土交通省国土計画局長並びに港湾局長への要望活動に引き続き、2 月 19 日（火）に中国圏広域地方計画の素案作成に携わる中国地方整備局長等との意見交換会を行いました。

意見交換会は、はじめに副会長の入山欣郎大竹市長から藤田武彦中国地方整備局長に提出した意見書の趣旨説明を行った後、参加の会員から、中国圏の将来像実現に向けたプロジェクトの瀬戸内海に関する記述や瀬戸内海に対する思い・期待を広域連携の必要性も交えながら発言しました。藤田局長からは、「瀬戸内海と日本海でそれぞれプロジェクトがあるべき、島嶼部も念頭に置く必要がある。」との発言がありました。

意見交換会出席者

【瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会】

副会長	大竹市長	入山欣郎
会員	尾道市長	平谷祐宏
会員	東広島市長	藏田義雄
会員	廿日市市長	眞野勝弘
会員	江田島市長	曾根薫
会員	海田町長	山岡寛次
会員	坂町長	吉田隆行
会員	大崎上島町長	藤原正孝
事務局	中国地方整備局	小林知宏

【中国地方整備局】

局長	藤田武彦
建政部都市調整官	藤岡啓太郎
企画部事業調整官	大野崇

【中国運輸局】

企画観光部計画調整官	水岩田博
------------	------



(入山大竹市長による意見書の趣旨説明)



(左から藤田局長、入山大竹市長、平谷尾道市長、
藏田東広島市長、眞野廿日市市長)




(右から藤田局長、曾根江田島市長、山岡海田町長、
吉田坂町長、藤原大崎上島町長)



(藤田局長)

中国圏広域地方計画に対する意見



**瀬戸内・海沿いのネットワーク推進協議会
会員市町村一同**

中国圏広域地方計画について、当協議会で「国土形成計画における瀬戸内海の位置付けに関する協議会の活動指針を広域地方計画に反映させること」を20年1月23日には会員市町村の同意という形で北近畿局長宛に「広域地方計画（広域圏、中国圏、ご対する要望）を提出したところです。

協議会活動が、確実な法定計画である広域地方計画により、協議会活動が地域に広く理解され、協議会協力、ひいては会員市町村もその恩恵を享受することにより、今後、市町村による計画立案の促進制度もあり、視野に入れているところですが、目前におかれては、暫定に置かれる必要があるため、中国圏の将来に向けたプロジェクトにおいて、当協議会長が協議会をまとめるべくご協力をお願いいたします。具体的には、反映していただきますようお願いいたします。

①協議会の活動指針である以下の3つの指針に記載
 (1)高速海上交通時代に対応した今日的意義のある「海の路の構築」
 並びに港湾、津波に対応した防災ネットワークの整備

中国圏の再生や災害、気候によるはげ山の誘発等
瀬戸内海の電化推進
内海の遊覧、観光、文化、食、製造等インフラ観光時
における瀬戸内の魅力発信

協議会を基軸とした新たな国策決定による中国圏、中国圏、近
畿九州圏の広域連携について記載

2020年2月19日

瀬戸内・海沿いのネットワーク推進協議会
会長 下関市長 江島 康

副会長 津和野市長 野口 聖

- * 鞆市長 石田 正 弘
- * 瀬本市長 柳 実 郎
- * 福野町長 清水 ひろ子
- * 和歌山市長 大 橋 健 一
- * 宮岡市長 高 木 浩 夫
- * 福山市長 野 田 悠
- * 大竹市長 入 山 敬 都
- * 宇部市長 藤 田 悠 夫

広島 蓮 受
瀬戸内 曾 二
岡 田 村 平
福 野 悠
大 森 輝 康
瀬 本 順 夫
五 藤 謙 之
中 村 尚
也 道 啓 明